

農業改良普及事業は

我が国農業をめぐる諸情勢と農業の直面している諸問題に対して農業改良普及事業は如何に対応しているのか。生産性の高い農業構造を確立していくため、農政審議会の報告に示された、21世紀へ向けての基本方向に即した、普及事業を展開いたしております。しからば、今日的重要課題である水田農業確立対策については、日夜集落に出向いて、集落座談会を開催して、水田農業確立に対する農家の認識の醸成と共に、稲作転作に通ずる生産性の向上、地域輪作農法の確立。さらに個別経営の規模拡大生産組織の育成等により、生産性の高い農業構造の確立を図る等、農業者団体の主体的取組を基礎として、水田農業の体質強化を図るべく頑張っております。

また、農業改良普及所としても、地域農業に対す普及活動計画を作成して、地域輪作農法の確立、農地流動化の促進等、農業構造面からの指導等を行っております。

次に農業改良普及所管内の農業について、産業として、自立し得る農業を如何に確立するか、検討をしております。そのためには、企業マインドを持った農業者の育成を通じて、コスト意識に立脚した生産性の高い農業の実現を図るべく、企業者マインドを持った若い農業者の育成と確保につとめております。また、農業経営の変化に対応した生活設計の樹立見直しに関する指導も重要でありますので農業改良普及員と生活改善普及員が一体的に活動して、健全なる農家生活の維持発展につとめております。

その他農業後継者の育成確保は、普及事業に課せられた重要課題であります。

目次 (第21巻 第4号)

除草剤の剤型……………	2
＜宇都宮大学農学部 近内誠登＞	
北海道における一発処理剤の効果と普及状況……………	10
＜北海道立中央農業試験場 谷川晃一＞	
鳥取県における一発処理剤の効果と普及状況……………	15
＜鳥取県農業試験場 伊田黎之輔＞	
福岡県における一発処理剤の効果と普及状況……………	19
＜福岡県農業総合試験場農産研究所 原田皓二＞	
昭和57～61年度茶園関係除草剤・生育調節剤試験成績概要……………	23
昭和61年度畑作物・野菜花き関係生育調節資材試験成績概要……………	27
＜財団法人 日本植物調節剤 研究協会 技術部＞	
民間研究所めぐり	
三井東圧化学(株)総合研究所……………	30
人事往来(農業工業会)……………	31

全国の農業改良普及職員は研さんに研さんをし農家と共に、日本農業の再編確立のため頑張っております。

(財団法人 日本植物調節剤研究協会 理事 星 鉦治)
(社団法人 全国農業改良普及協会 専務理事)